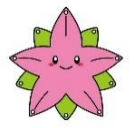


かしこく やさしく たくましく 笑顔いっぱい



# みゆきっ子

令和5年9月29日 発行者：由井 薫

【いじめゼロへの取組：企画委員会】



## 9月のいじめゼロ強調月間の取組 特集号 ～いじめをしない・負けない・許さない～

### 《いじめゼロ集会を実施しました》

9月は、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、全教職員が「いじめは絶対に許さない」という共通認識のもと、様々な取組を実施しました。いじめゼロ集会では、企画委員会を中心となって学校全体に「いじめゼロ」の大切さを伝えることができました。

### ★児童を主体とした、いじめ根絶活動 ～自分たちで考え、実践することができました～

#### 😊いじめゼロ標語の紹介

全校生が書いた標語から、各学年ごとに企画委員が、すてきなと思う標語を選びました。選ばれた各学年の代表者が、堂々と発表しました。発表の後、企画委員の人が、それぞれのよかったところをお話して、標語に込められた思いを伝えてくれました。



#### 😊いじめに関する劇と話し合い

「ドッジボール」や「休み時間」という学校生活の中で起こりうる場面を取り上げ、企画委員が事前に劇を動画で撮影してくれました。それを全校生で視聴して、各クラスのペアでどのように行動すればいいのか話し合いました。とてもよく考えられた劇でした。演技もすばらしかったです。



#### 😊いじめゼロ宣言

企画委員長の号令のもと、学校全体で「いじめゼロ宣言」を行いました。

いじめを  
しない

まけない

ゆるさない

とても力強い宣言でした。いじめのない笑顔いっぱいの御幸小学校にしていきましょう。



#### 😊各委員会での取組

各委員会では、委員会活動の際に、自分たちに何かできることはないか考えました。運動委員会では、給食の時間に全校生に「思いやりの心をもって仲良くすごしましょう」と呼びかけています。環境委員会では、「思いやり」や「いじめゼロ」を呼びかけるポスターを作って、学校の様々な場所に掲示しています。いじめゼロのために、みんなで考えたというプロセスが心の成長につながっていると思います。

#### 😊企画委員長からのメッセージ

普段の生活の中で、何気なく友達に言っている一言やしていることが、相手にとっては嫌なことで、それがいじめにつながっているかもしれません。相手にとる態度や言葉づかいに気を付けて生活することで、いじめがなくなると思います。今回の取組で考えたことを忘れずに、これからも笑顔で、友達と仲良く過ごしていきましょう。



## ★思いやり標語の作成と掲示～企画委員が選んで発表した標語です～

自分だけでなく、学級や学校の友達が、安心して楽しく生活できるように、一人一人がいじめゼロに向けて頑張りたいことや伝えたいことを標語にして掲示しました。

- ・おもいやり みんながもてば にっこにこ (1年 S・Tさん)
- ・しらんぷり だれかのえがお なくしてる (2年 N・Aさん)
- ・インターネット ばれなくたって かなしいよ (3年 T・Rさん)
- ・だいじょうぶ みんながいるよ みゆきっ子 (4年 K・Hさん)
- ・いじめゼロ 心のきずは なおらない (5年 O・Rさん)
- ・言葉にして そのひとことで つながる輪 (6年 H・Hさん)

皆さんの標語のように、いじめゼロで過ごしたり、思いやりの気持ちを持ったりしてこれからも楽しく笑顔で過ごしていきましょう。

## 《そのほかの取組について》

### ★道徳の授業（いじめに関する内容）

いじめに関する内容について話し合いながら、今までの自分の考え方や行動について振り返り、今後のよりよい行動について実践への意欲を高めました。

### ★いじめゼロリボンシールの配付

名札に、黄色い「いじめゼロリボンシール」を貼って、一人一人が「いじめをしない・負けない・許さない」気持ちを大切に行動できるよう生活しています。

### ★いじめのない学校を目指して

宇都宮市教育委員会から送付されたポスターを掲示し、「いじめのない学校にしよう」と呼びかけています。

ふわふわ言葉があふれる学校にしていきたいと思います。



### ★いじめゼロ強調月間スローガン掲示

9月1日から、各教室の入り口や後ろや側面に掲示して、全児童に呼びかけ、いじめゼロに対する意識を高めています。



### ★いじめアンケート調査の実施

毎日の生活の中で、いじめられたことやいじめを見たことがあるかなど、全校生にアンケートを実施し、必要に応じて担任や学校全体で対応しています。

### 《児童指導主任 市川 裕之先生から》

児童の皆さんが作った標語からは、いじめをしない・負けない・許さないという強い意識が感じられ、大変心強く感じています。近年、3年生の標語にあるように、インターネットを介した問題が増加しています。音声チャットを介した言動や、文字でメッセージを送る際には、相手に誤解を与えるような内容でないか、よく考えるようにしましょう。ご家庭でも確認していただき、みんなで協力してよりよい御幸小にしていきたいと思います。